



# かなざきひさの町政報告

www.kanazaki-hisa.com

## 第2回定例会報告 令和元年6月12日～26日

### ○ 学校給食センター用地決定

長柄小学校入口を左に進んだ山の中を予定しています。  
 地主はその地に葉山牛の牧場を建設する計画を持っています。  
 そこに至る道路の拡幅などの協力と引き換えに、  
 給食センター用地を無償で提供するとのことです。

当面の経費 2546万円 設計施工一括発注支援業務  
 予定地地質調査  
 道路拡幅用地取得 等



学校給食センター  
建設予定地

### 問題点

- ・ 予定地は土砂災害特別警戒区域に指定されている。
- ・ 土地が無償貸与されることに懼れはないのか。
- ・ 牧場の臭気の影響はないのか。
- ・ 大手事業者の参入に町が加担しているにもかかわらず、町内にすでにある 個人経営の畜産業者に対する説明がなされていない。

到底、見逃すわけにはいかない事案なので、  
 関連予算の削減の修正案を提出しました。

しかし、賛成者は5人で、予算削減の  
 修正案は否決されました。

賛成した議員

金崎ひさ・中村和雄・山田由美・窪田美樹・近藤昇一

### ○ かなざきひさの一般質問(6月13日に行いました)

#### 公園について

かなざきひさの質問	答弁
整備費3500万円が予算化されているが、草ぼうぼうの公園が多い。その整備は。	3500万円は国際村等の大きい公園の整備費で、その他は職員の手で整備している。(都市経済部長)
草刈りは年1回では少ないと思うが。	地元の方と管理協定を結び、きれいな公園もある。(都市経済部長)
町内に50ヶ所以上の小さな公園があるが、荒れ地の公園では利用されないのではないかと。少し精査してはいいか。	スリム化したいところではあるが、近隣の方々のご意見も多々あり、それらを精査して、集中した公園をきれいに整えたい。(都市経済部長)
町民の方が公園に遊具設置を希望する場合、どのような方法をとればいいのか。	町内会・自治会で要望をとりまとめて欲しい。(都市経済部長)

砂場にブルーシートを敷いているが、砂場として活用しているのか。	糞・虫よけのために敷いており、利用する時に外す。 (都市経済部長)
町内にスケートボード公園を熱望している声が多い。設置の可能性は。	中高生議会でも要望され、南郷公園を提案したことがある。音が響くので、住宅街では難しい。(町長)
中高生議会の提案を実現させることは大いに意義深い。何を言っても変わらない、という風潮はなくしたいと思うが。	引き続きの検討項目として捉えていきたい。(町長)
かなざきひさの考え 公園がたくさんあっても使える公園があまりない。少し精査して、全ての管理を良くし、快適に利用できるようすべきと提案しました。	

## 町の活性化について

葉山町には、各地区でのイベントはあるが、町を挙げてのお祭りが無い。それをめがけてふるさとに帰ろう、と思わせるイベントの創設を。	継続性などを考慮すると、なかなか難しい課題だ。 (町長)
せっかく歴史を刻んできた「ふるさとひろば」も中止となった。町として、育てるといふ支援が必要だと思うが。	町民運動会開催の要望がある。なにかしらの支援をしていきたいと考えている。(町長)
町民みんなが、こぞって参加したいと思うイベントがあると、町の活性化につながると思うが。	「町民こぞって」をキーワードに改元を機に考えてみたい。(町長)
かなざきひさの考え みんなで盛り上がる一大イベントを企画し、それを葉山町の歴史となるよう育てあげる郷土愛を町長に持ってもらいたいと思い質問しました。	

## ごみ行政について

プラスチックごみ処理に関して、国からの通達は。	産業廃棄物に関して、各自治体が一般家庭ごみを焼却する炉で燃す余地がないかと模索したものであり、国からの通達はまだない。(環境部長)
レジ袋有料化に対する町の施策は。	法施行よりも先んじて取り組みたい。(環境部長)
今夏、森戸海岸海水浴場組合では、フリープラスチックビーチを実施するとのこと。全海水浴場に指導してはいかがか。	声かけをすることは可能である。(町長)
生ごみ分別に関して、モデル地区の決定はいつにするのか。	これから詰める。(環境部長)
逗子市との歩調を合わせる必要があると思うが、目標年次は。	周知、指導方法も大きく変わってくるので、葉山町は独自でなるべく早く周知をしたい。モデル地区を今年度中に決め、令和2年度中に施行を始めたい。 (環境部長)
金崎ひさの考え 生ごみを出す方法も考慮が必要です。プラスチックの袋に入れるのか、バケツで出すのか。そして、モデル地区が分別を始めても、当面は処理場がないので、燃やすこととなります。町民の方々にのみ努力を強いて、報われないことにならないよう、今後もしっかりと提言を続けます。	